

## 第2回 熊本県枝肉共進会

肉牛の部 Gチャン (株) TAIJU

特別賞 JA菊池CBS事業所

肉豚の部 名誉賞 (有) DEAPS

経済連、畜連、畜産協会が主催する第2回熊本県枝肉共進会が、令和6年11月1日に熊本畜産流通センターで開かれました。肉牛の部104頭、肉豚の部9セットの出品がありました。



CBS平田所長 TAIJU佐藤さん CBS真嶋さん DEAPS吉田さん

肉牛の部で、グランドチャンピオンに輝いた枝肉は(株)TAIJUの佐藤大樹さん(旭志)出品枝肉で、その素牛はJA菊池CBS(キャトルブリーディングステーション)事業所で育成された牛で、JA菊池にとって二重の喜びとなりました。また、共進会後に開かれたセリでGC牛の枝肉単価は10,040円と、高値で取引されました。管内入賞者は以下の通りです。

### 【肉牛の部】

**グランドチャンピオン** (株)TAIJU  
**黒毛和種 名誉賞首席** (株)TAIJU  
 名誉賞2席 (株)中林ファーム  
 名誉賞3席 (株)佐々畜産  
 優秀賞 (株)出口畜産  
 優秀賞 (株)安武ファーム

**交雑種 優秀賞** 大塚晃生  
**褐毛和種 優秀賞** 斉藤拓矢  
**特別賞** GC牛素牛生産者 JA菊池CBS事業所

### 【肉豚の部】

名誉賞 (有)DEAPS  
 優秀賞 (有)富田ファーム



参加者と堀田社長(中央)と大山担当理事

## 地域農業や地下水保全の理解深める JASMとの交流イベント開催

菊陽町で半導体製造企業・JASMとの交流イベントを令和6年10月19日に開き、地域農業や地下水保全の重要性に対する理解を深めることを目的とした稲刈り体験を行いました。6月に実施した田植え交流イベントの約10アールの田んぼで、JASM従業員とその家族約50人の参加がありました。

菊陽中央支所職員、青壮年部員らが刈り取り準備や指導を行い、菊陽町産業振興部商工振興課の協力もありました。この日収穫された「ヒノヒカリ」は、ボランティアで参加したJASM従業員に後日配布されました。

JASMの堀田祐一社長は「地域社会との共存と成長はJASMにとって非常に重要。交流イベントを通じて、従業員が農業や地下水保全に関心を持ってもらいたい。同時に、地域の方にも当社の取り組みを知ってもらい安心していただきたい。地元産米の購入や社員食堂での提供も行い、地域農業振興に向けた活動も進めていきたい」と話しています。

JA菊池は、JASM社員食堂で従業員向けの地域農産物販売会を実施しており、産物のおいしさや水の重要性も伝えています。東哲哉組合長は「こちらの要望を伝えながら、相互理解を深める活動をしていきたい。農業の現場を知ってもらい、地域農畜産物をしっかり食べてもらいたい」と話しました。稲刈り体験後の交流会では、菊池地域の農畜産物でバーベキューを楽しみました。堀田社長は、青壮年部菊陽支部の盟友らとも意見を交わしました。